

通常  
上映

# イラン映画特集

子どもを描いた  
イラン映画の特集

会期:6月17日(水)~7月26日(日)※休館日・休映日除く



天使のような子どもたち

特別企画

## 2020年 福岡ユネスコ文化講演会

国交正常化以降、中国で日本映画が  
どう評価されてきたのかを講演と映画上映で紹介

会期:6月28日(日)



講師:劉文兵

新型コロナウイルス感染防止のため  
下記へのご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員のマスク・手袋着用。

通常  
上映

# イラン映画特集

子どもを描いたイラン映画の特集

会期:6月17日(水)~7月26日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)



私は15歳

7/25(土)14:00 7/26(日)14:00

## 私は15歳 I'm Taraneh, 15



監督:ラスール・サドレアメリ

出演:タラネ・アリデステ ホセイン・マジューブ

2002年/35ミリ/カラー/110分/イラン/日本語・英語字幕付き

タラネは15歳の少女。彼女はアミールという少年に求婚される。二人は卒業後に結婚することにして、とりあえず宗教上の結婚をする。ところが4ヶ月後アミールは別の女性と歩いていて補導される。婚約を破棄するタラネだが、その後妊娠したことを知るのだった。本作で描かれる宗教上の結婚とはイスラム教独特のもの。未成年で未婚の女性が子どもを産むことが、世間からどのように見られるかが本作では良くわかる。タラネを演じたタラネ・アリデステは本作がデビューで、素晴らしい演技を見せる。そしてこの後イランを代表する女優になる。



6/17(水)14:00 6/18(木)14:00

## ハーモニカ

Harmonica



監督:アミル・ナデリ

出演:マームド・グダルズイ  
シーラ・ダルビシ

1973年/35ミリ/カラー/80分  
イラン/日本語・英語字幕付き

アブドルはいじめられっ子だったが、ある日おじいさんから日本製のハーモニカをもらう。するとみんなアブドルがうらやましくて、彼は人気者になってしまう。力と権力構造を寓話的に表現した作品で、大きな論争となった。巨匠アミル・ナデリ監督のイスラム革命前の作品。

6/19(金)14:00 6/20(土)14:00

## 春へ

The Spring



監督:アボルファズル・ジャリリ

出演:マヒディ・アザディ

1985年/35ミリ/カラー/85分  
イラン/日本語・英語字幕付き

イラン・イラク戦争中。少年モハマドは森の中でシナ老人と暮らしていた。ある日モハマドは兵士と出会い、故郷ボスタンの話を聞き、望郷の念にかられる。国際的な評価が高いジャリリ監督作品。イラン・イラク戦争(80年~88年)の最中に製作されており、平和を願う気持ちが率直に描かれる。

6/21(日)14:00 6/24(水)14:00

## 鍵

The Key



監督:エブラヒム・フルゼシュ

出演:マハナズ・アンサリアン  
ファテメ・アサール

1987年/35ミリ/カラー/76分  
イラン/日本語字幕付き

4歳の少年アミールは母親に赤ん坊の世話と家の留守番を言いつけられる。母親は家に鍵をして出かける。しばらくして台所から料理の焦げる匂いがする。そこからアミールの大奮闘が始まる。巨匠アッバス・キアロスタミ脚本・編集による作品。シンプルな内容だがサスペンス映画のようである。

6/25(木)14:00 6/26(金)14:00

## 選択

The Need



監督:アリ・レザ・ダウドネジャード

出演:アリ・スリ

タラホーム・ファティ  
1991年/35ミリ/カラー/80分  
イラン/日本語・英語字幕付き

父親が死亡した少年アリはやむなく印刷所に面接に行く。そこには少年レザが来ており、印刷所は働きを見てどちらか一人を採用するという。二人は喧嘩をしながらもお互いを認め合っていく。二人の少年が仕事の中で人間的な成長をしていく姿を描いた作品。映画に使われているイランの伝統音楽が美しい。

特別企画

# 2020年福岡ユネスコ文化講演会

国交正常化以降、中国で日本映画がどう評価されてきたのかを講演と映画上映で紹介

会期:6月28日(日)

観覧料:1,000円(一般) 500円(学生・留学生)

主催:一般財団法人福岡ユネスコ協会 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

問合せ先:一般財団法人 福岡ユネスコ協会 電話:092-715-8768 (平日10~17時)

※上映と講演はセット料金で、上映のみ、講演のみでも同じ金額です。

※定員制。開場は開演の30分前。

※申込み方法:催し名(「日本映画と中国講演会」)、氏名(参加者全員)、連絡先

(FAXまたはメールアドレス等)を明記の上、メールかFAXでお申し込み下さい。

メールアドレス:fuunesco2014@gmail.com FAX:092-733-1291

感染防止のため、申込先着50名様とさせていただきます。

※高齢者・障がい者・「わの会」の割引はありません。

※学生・留学生の方は身分証が必要です。

7/1(水)14:00 7/2(木)14:00

## バデック 砂漠の少年

Baduk



監督:マジド・マジディ  
出演:モハマッド・カセビ  
メヘロラ・マザルゼヒ  
1992年/35ミリ/カラー/86分  
イラン/日本語字幕付き

砂漠の村。父親を亡くしたジャファルとジャマルの兄妹は誘拐され売られてしまう。ジャファルは密輸商のアブドラに買われ、他の少年と一緒に密輸の仕事させられる。しかしスキを見て妹を行方を探すのだった。巨匠マジド・マジディ監督の監督デビュー作。バデックとはパキスタンから密輸を行う人々の事。

7/3(金)14:00 7/4(土)14:00

## ザ・ブーツ

The Boots



監督:モハマッド=アリ・タレビ  
出演:サマネ・ジャファ・ジャリリ  
ロヤ・ナシリ  
1993年/35ミリ/カラー/59分  
イラン/日本語・英語字幕付き

少女のサマネは赤いブーツを買ってもらおうが居眠りしてバスの中で落としてしまう。翌日母親だけでなく、サマネと友達たちもみんな赤いブーツの行方を探すのだった。愛らしい物語でさわやかな感動を呼び起こす作品。監督が原作の短編小説に感動し映画化したもの。

7/5(日)14:00 7/8(水)14:00

## 神さまへの贈り物

Bag of Rice



監督:モハマッド=アリ・タレビ  
出演:マスメ・エスカンダリ  
ジェイラン・アバドザデー  
1996年/35ミリ/カラー/80分  
イラン=日本/日本語・英語字幕付き

4歳の少女ジェイランは外に遊びに行きたくて、近所に住むマスメおばあさんと一緒に配給の米を取りに行く。ところがジェイランはおばあさんを困らせることばかりしてしまう。日本とイランの初の合作映画。老人と少女が重い米を苦勞して持ち帰る様を優しく描いた作品。

7/9(木)14:00 7/10(金)14:00

## 天使のような子どもたち

Children of the Heaven



監督:マジド・マジディ  
出演:モハマド=アミル・ナージ  
バハレ・セツデギ  
1997年/35ミリ/カラー/88分  
イラン/日本語・英語字幕付き

少年アリは妹の古い靴を修理に出すが、途中で靴を無くしてしまう。家族に言い出せないアリは、自分の靴を妹と交互に履いて学校に行く。ある日マラソン大会があり3等の商品が運動靴であることを知ったアリは、妹のために出場する。「運動靴と赤い金魚」という題で日本でも公開された傑作。

7/11(土)14:00 7/12(日)14:00

## ぼくは一人前

The Little Man



監督:エブラヒム・フルゼシュ  
出演:モハマド=レザ・サファリ  
マルヤム・カゼミ  
1998年/35ミリ/カラー/86分  
イラン/日本語・英語字幕付き

11歳の少年ママルは7人家族。ママルは祖父が荒れた土地を開墾して畑を作り始めたことを知り母親に内緒で手伝う。ママルは夜まで手伝いをするためいつも学校に遅刻してしまうのだった。労働の大切さ、生きることの大切さを描いた作品。子どもを見守る大人たちの優しさも随所に描かれている。

7/15(水)14:00 7/16(木)14:00

## カラー・オブ・パラダイス

Color of Paradise



監督:マジド・マジディ  
出演:ホセイン・マーजूーブ  
モフセン・ラマザーニ  
1999年/35ミリ/カラー/90分  
イラン/日本語・英語字幕付き

モハマドは全寮制の盲学校に通う8歳の少年。夏休み父親と一緒に山間の村に行く。父親は再婚を考えており、将来のためモハマドを大工の修行に出すのだった。マジディ監督は盲学校の少年と知り合い、彼らが独自の世界を持っていることに気が付いて本作を監督している。「太陽は、ぼくの瞳」という題で日本でも公開された傑作。

7/17(金)14:00 7/18(土)14:00

## としごろ

Sweet Agony



監督:アリ=レザ・ダウドネジャード  
出演:レザ・ダウドネジャード  
モナ・ダウドネジャード  
1999年/35ミリ/カラー/88分  
イラン/日本語・英語字幕付き

レザは18歳。許嫁のモナとすぐにも結婚したいのだが、親たちは彼らが真面目に勉強しなくなることを心配して結婚を許さない。映画はフィクションだが、レザは監督の息子、モナは監督の兄の娘である。家族で作られた映画で、まるでドキュメンタリーのように見える作品。

7/19(日)14:00 7/22(水)14:00

## スニーカーの少女

The Girl in the Sneakers



監督:ラスール・サドレアメリ  
出演:ペガー・アハンガラニー  
マジド・ハジザデー  
1999年/35ミリ/カラー/97分  
イラン/日本語・英語字幕付き

タダイは15歳の少女でアイディンというボーイフレンドがいた。ある日二人は公園でデートをしていて警官に補導される。家族は二人を引き離そうとするが、タダイは家出をしてしまう。イスラム教の国イランでは未婚の男女が二人で過ごすことは許されない。自由化の中で自己主張を始めた女性を描く作品。

7/23(木・祝)14:00 7/24(金・祝)14:00

## ささやき

Whispers



監督:ハルピズ・シャーバズイ  
出演:アリ・セイフ  
サマネ・セイフ  
2000年/35ミリ/カラー/77分  
イラン/日本語・英語字幕付き

テヘランの街角。3人組のストリートチルドレンが、カードなどを売っていた。年上の少年がときどき大人に何かを相談する。大人たちは良いことだと言うがなかなか引き受けてくれない。少年がひそひそと何を相談しているのかが興味深い作品。ラストのオチも秀逸。

講演

13:15~14:30

## 「日本映画は中国でどのように愛されてきたのか」

講師:劉文兵氏 (大阪大学言語文化研究科専任教員)



1967年中国山東省生まれ  
東京大学大学院総合研究科超域文化科学専攻表象文化論  
コース博士課程修了。日本学術振興会外国人特別研究員、東  
京大学学術研究員、早稲田大学非常勤講師等を経て現職。著  
書に『映画がつなぐ中国と日本』(2018)『日中映画交流史』  
(2016)『中国抗日映画・ドラマの世界』(2013)『中国映画の熱  
狂的黄金期』(2012)『中国10億人の日本映画熱愛史』(2006)他

上映

14:40

## サンダカン八番娼館 望郷

女性史研究家・三谷圭子は天草に「からゆきさん」の調査にやってくる。彼女は老婆サキと出会う。サキは昔「からゆきさん」だったと確信する圭子はサキの家で寝食を共にする。やがてサキは自らのつらい過去を語り始める。原作は山崎朋子の「サンダカン八番娼館」。明治終わりから第1次世界大戦にかけて娼婦として南洋に送られた女性たちを描いた感動作。サキを演じた田中絹代はベルリン映画祭女優演技賞を受賞。第48回キネマ旬報日本映画ベストテン第1位。



監督:熊井啓  
出演:栗原小巻 田中絹代 高橋洋子  
1974年/35ミリ/カラー/121分  
東宝=併優座



6/17 水	14:00	ハーモニカ
18 木	14:00	ハーモニカ
19 金	14:00	春へ
20 土	14:00	春へ
21 日	14:00	鍵
22 月		休館日
23 火		休映日
24 水	14:00	鍵
25 木	14:00	選択
26 金	14:00	選択
27 土		自主上映／福岡映画サークル協議会例会
28 日		2020年福岡ユネスコ文化講演会
	13:15 講演	14:40 サンダカン八番娼館 望郷
29 月		休館日
30 火		休館日
7/1 水	14:00	バデック 砂漠の少年
2 木	14:00	バデック 砂漠の少年
3 金	14:00	ザ・ブーツ
4 土	14:00	ザ・ブーツ
5 日	14:00	神様への贈り物
6 月		休館日
7 火		休映日
8 水	14:00	神様への贈り物
9 木	14:00	天使のような子供たち
10 金	14:00	天使のような子供たち
11 土	14:00	ぼくは一人前
12 日	14:00	ぼくは一人前
13 月		休館日
14 火		休映日
15 水	14:00	カラー・オブ・パラダイス
16 木	14:00	カラー・オブ・パラダイス
17 金	14:00	としごろ
18 土	14:00	としごろ



19 日	14:00	スニーカーの少女
20 月		休館日
21 火		休映日
22 水	14:00	スニーカーの少女
23 木祝	14:00	ささやき
24 金祝	14:00	ささやき
25 土	14:00	私は15歳
26 日	14:00	私は15歳

### 自主上映のお知らせ

#### 6月27日(土) 福岡映画サークル協議会例会

上映作品：「記者たち 衝撃と畏怖の真実」(2017年/91分/アメリカ)  
 ①11:00～ ②14:00～  
 料 金：一般 当日1,400円(前売り1,200円)  
 シニア 当日1,100円／中高生 当日800円  
 障がい者 当日800円  
 主 催：福岡映画サークル協議会 TEL092-781-2817  
 ※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

#### 映像ホール利用申し込みについて

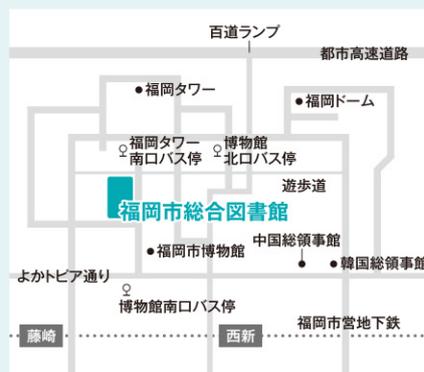
映像ホール・シネラでは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり申し込みの受付を行います。  
 利用申し込み対象期間 令和2年12月～令和3年5月  
 ※別途配布の申し込み用紙に対象日を記載しています。  
 申込み受付期間／令和2年5月31日(日)～令和2年6月19日(金)※休館日を除く  
 抽 選 日／令和2年6月27日(土)午前11時より  
 抽 選 会 場／福岡市総合図書館3階 第6研究室  
 利用申込書／福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出しください。

### 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
 福岡市総合図書館(代表)：tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



#### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。